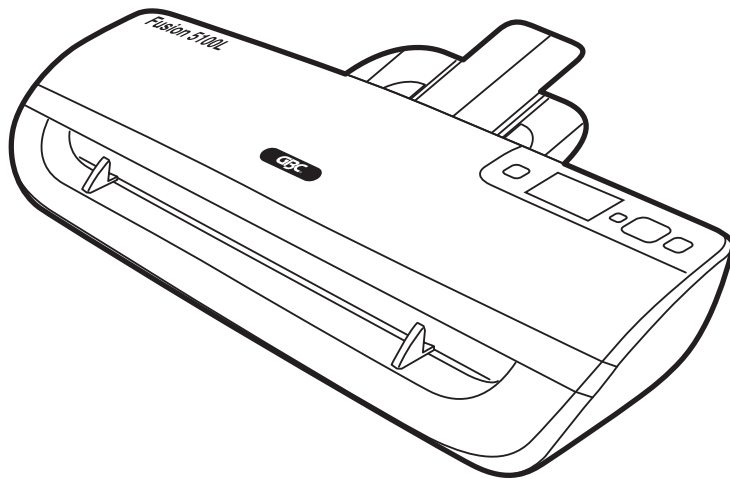




取扱説明書

パウチラミネーター フュージョン 5100L



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、
ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

目次

1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ラミネート作業上の注意	5
5.ご使用の前に	8
6.操作方法	8
7.お手入れ方法	14
8.こんなときは	15
9.製品仕様	16

◆保証とサービス

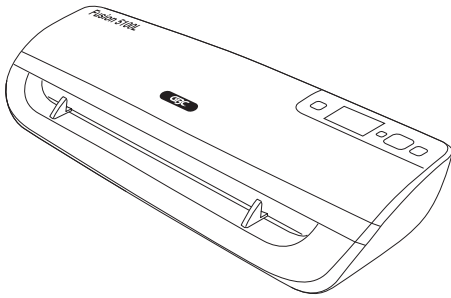
お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。
- ★本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。
ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ★本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)、接触すると褐色に変色することがあります。
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

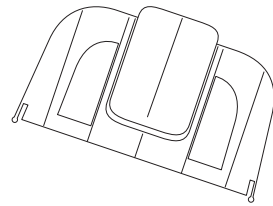
1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

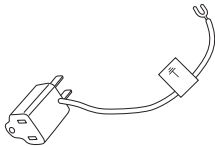
マシン本体



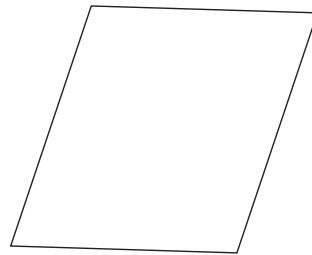
サポートトレイ



電源アダプター
(アース端子付)



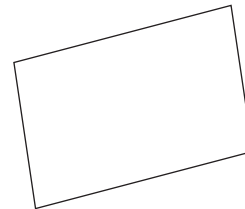
クリーニングペーパー



取扱説明書 (本書)



ラミネーター使用時の注意書き



※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。



警告



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを“オフ”にして取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。
※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。
※発火する恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



注意



本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。

※火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。

※本体上面は高温になります。



本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。

電源は、延長コード含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。

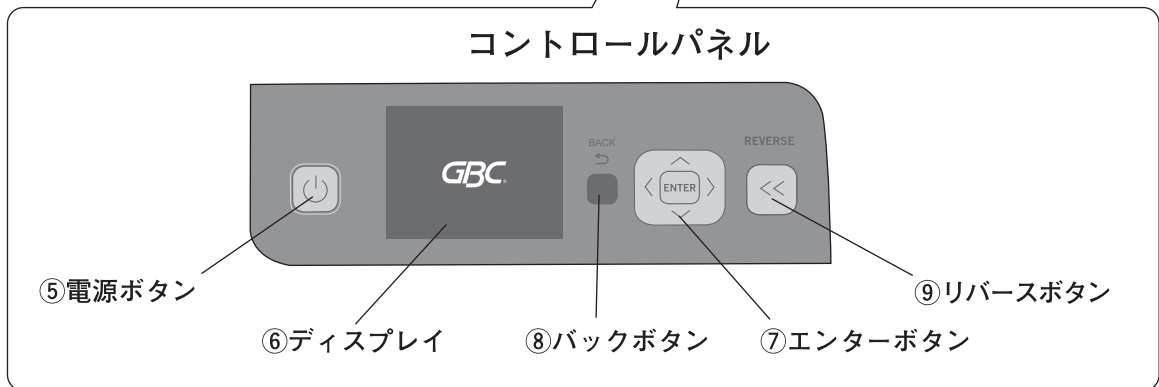
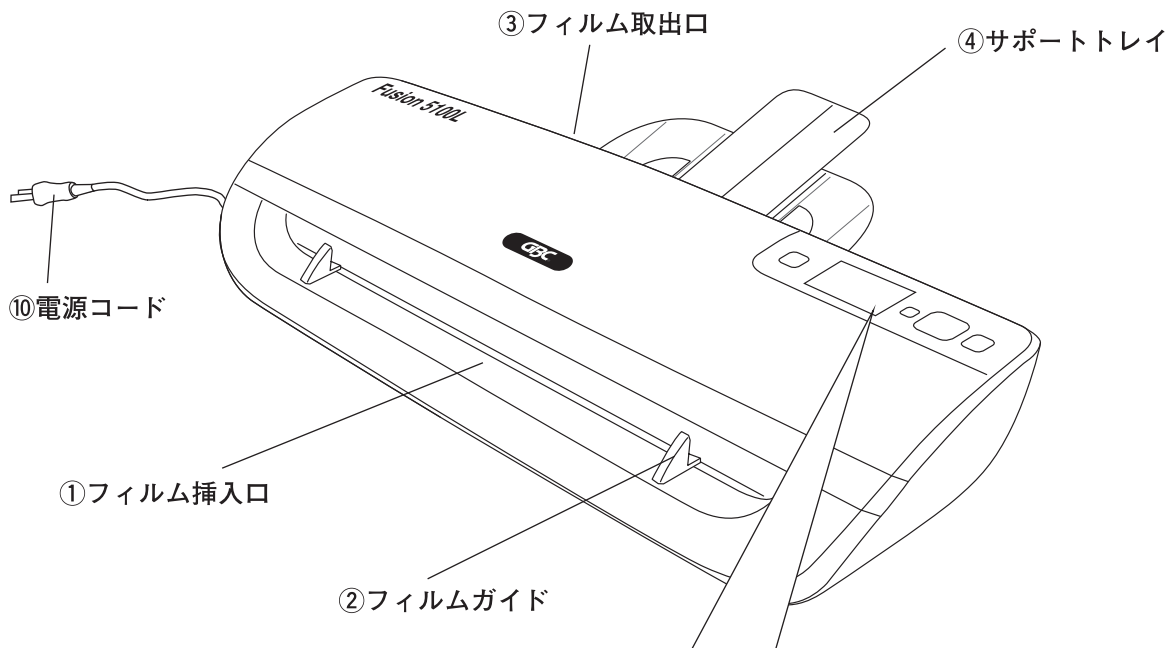


電源プラグをコンセントへ接続する前に必ずアース線を接続してください。

またアース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行なって下さい。

※感電や発熱による火災の原因になります。

3・各部の名称と働き



- ① フィルム挿入口
 パウチフィルムにラミネートするものをはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。
- ② フィルムガイド
 ラミネートするフィルムサイズに合わせてセットし、このガイドに沿ってフィルムを挿入してください。
- ③ フィルム取出口
 ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。
- ④ サポートトレイ
 ラミネートするパウチフィルムを支えるトレイです。使用時は必ずサポートトレイをセットしてください。
- ⑤ 電源ボタン
 このボタンにタッチして、電源をオン・オフします。オンの時はGBCロゴが点滅した後、メニュー画面が表示されます。使用しない場合は、このボタンにタッチして必ずオフにしてください。

⑥ディスプレイ

電源がオン状態になっている時は、このディスプレイが表示され、状態を表示します。また、ラミネートの設定もこのディスプレイを使用して行います。

⑦エンターボタン

設定はこのエンターボタンと周辺の選択キー(〈・〉・へ・ゝ)を操作して行ってください

⑧バックボタン

どの操作時でもディスプレイをメニュー画面に戻す場合は、このバックボタンを押してください。

⑨リバーズボタン

「オートリバーズ機能」を補助したり意図的に逆転させる場合、リバーズボタンを押し続ければ、加工物をフィルム挿入口から戻すことができます。

⑩電源コード

マシン本体背面にある電源コードを、必ずAC100Vのコンセントへ差し込んでください。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

- ★ このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユポ等はラミネートしないでください。
- ★ 和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。
- ★ 可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。
- ★ 再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
- ★ フィルムを含めて厚さ1.2mm以上になるものはラミネートしないでください。
- ★ インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

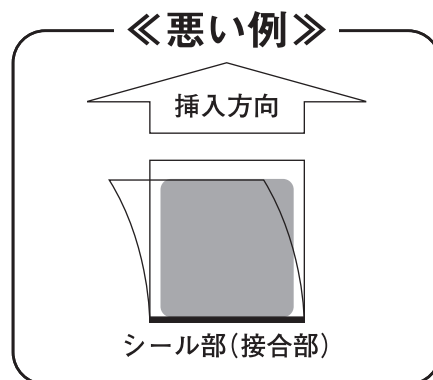
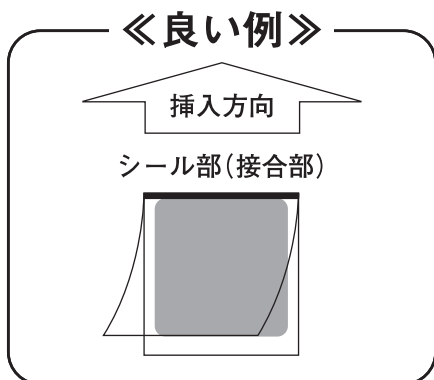
★ 貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

ラミネートするとき

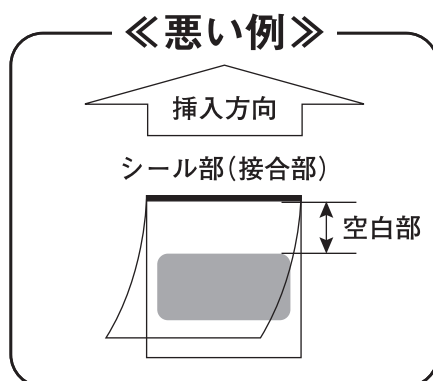
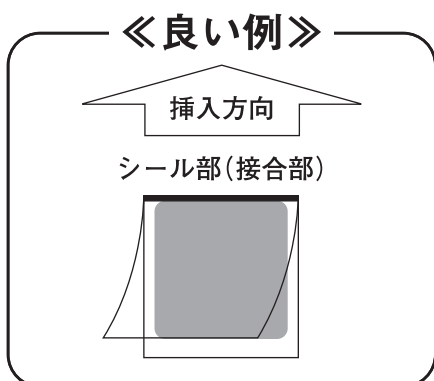
重要

ご使用になる前に必ずお読みください。

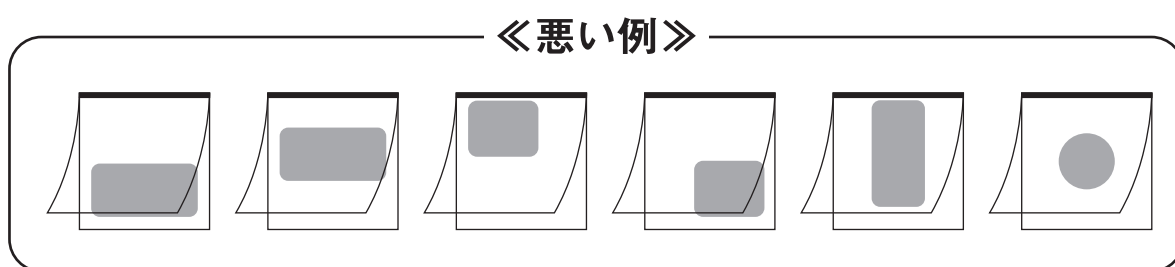
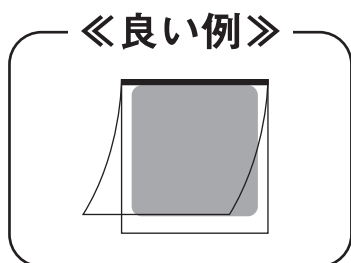
- ★ パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



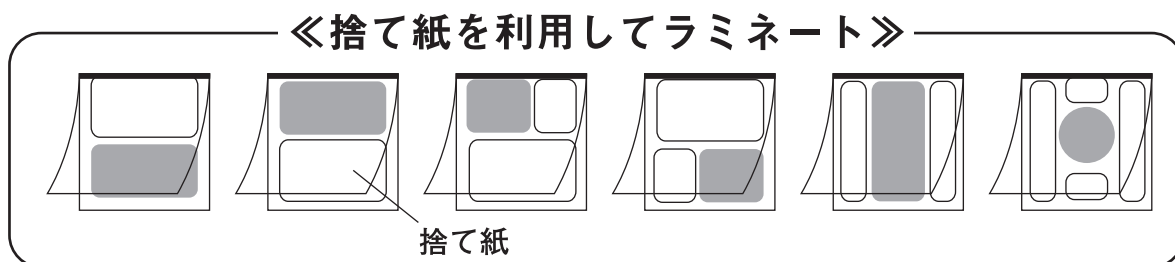
- ★ パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



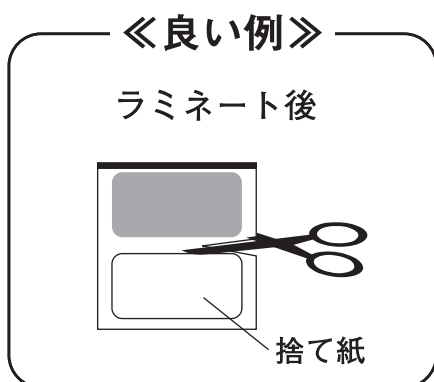
- ★ 加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。
 - ※フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。
 - ※フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。
 - 余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。
 - ※凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。



対処法



- ★ ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。



注意



間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

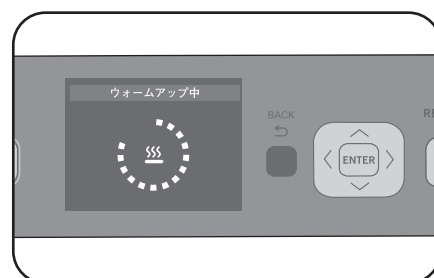
設定の目安

T 1	75 認 x コピー用紙	T 3	150 認 x コピー用紙
T 1	75 認 x カタログ	T 3	150 認 x カタログ
T 2	100 認 x コピー用紙	T 3	150 認 x フォト紙 (89mm x 127mm)
T 2	100 認 x カタログ	T 5	250 認 x コピー用紙
T 2	100 認 x フォト紙 (89mm x 127mm)	T 5	250 認 x カタログ

※上記にないフィルム厚と加工物の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。

※温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

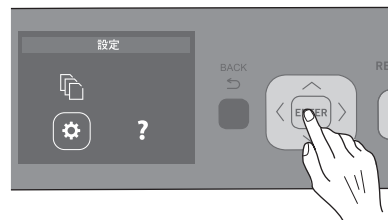
- ④ウォームアップを開始します。約90秒後に、ウォームアップ表示が消え、ラミネート可能なことを知らせます。



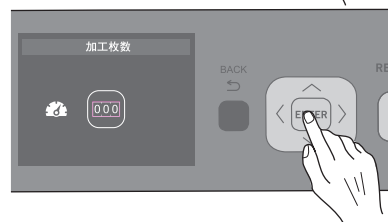
カウンター機能

★加工枚数をカウント表示できるカウンター機能があります。下記の手順で表示させてください。

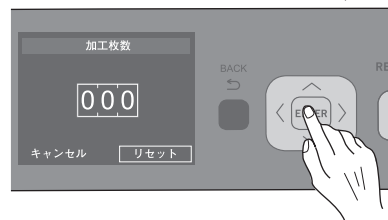
- ①エンターボタン(ENTER)を押して、メニュー画面を出します。



- ②選択キーを操作して、「カウンター」アイコンを選択します。



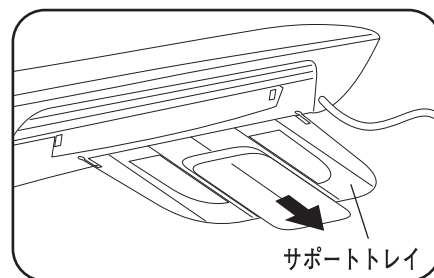
- ③選択キーを操作して、「リセット」を選択します。エンターボタン(ENTER)で確定させてください。「キャンセル」を選択すると、メニュー画面に戻ります。



5・ご使用の前に

＜サポートトレイのセット＞

使用する前に、サポートトレイを背面にセットしてください。サポートトレイ底部のフック(3ヶ所)をフィルム投入口へ上から差し込んでください。



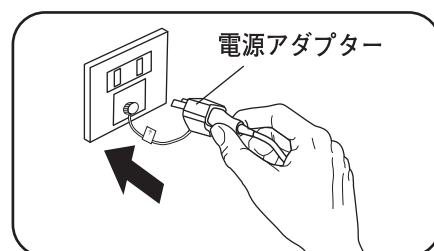
⚠ 注意



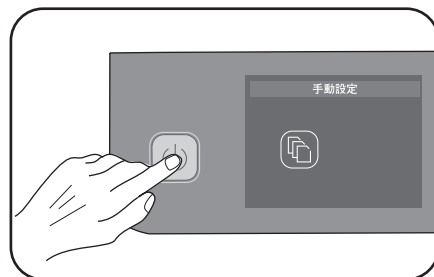
セットしたサポートトレイには下方へ無理な力を加えないでください。

6・操作方法

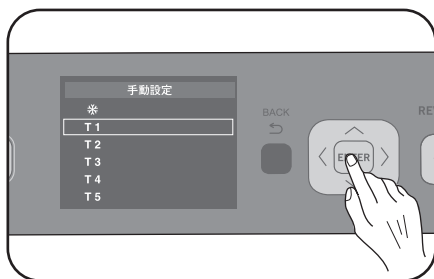
- ① 付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。



- ② 電源ボタンにタッチしてください。ディスプレイにGBCロゴが点滅した後、メニュー画面が表示されます。



- ③ エンターボタン(ENTER)を押して、右の画面にしてください。次ページの「設定の目安」を参考に使用するフィルムの厚さと加工物に合わせて、選択キーを押して、設定コードを選択してください。エンターボタン(ENTER)を押して確定させてください。

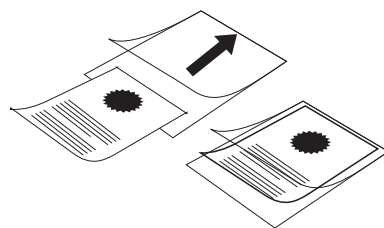


※設定を変更する場合は、バックボタンでメニュー画面の戻ってから、設定し直してください。

重

要

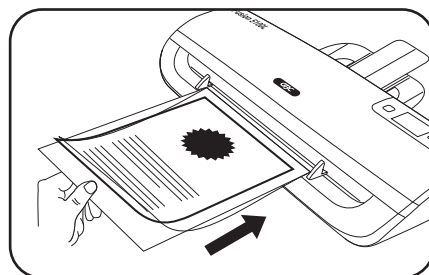
★ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。



★「加工可能」の文字非表示時は、ラミネート用フィルムを通さないでください。

★貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

- ⑤フィルムガイドをサイズに合わせてスライドさせてセットしてください。
次に、シールされた側からフィルムをガイドに沿ってフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。



警告



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。
※高温のため、やけどをする恐れがあります。

警告



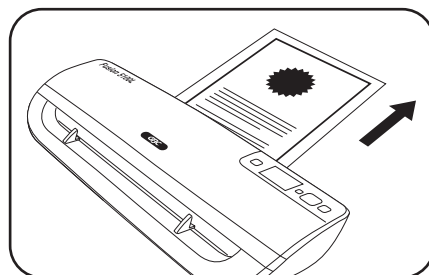
ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になることがあります。
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、“オフ”にして取り除いてください。

注意

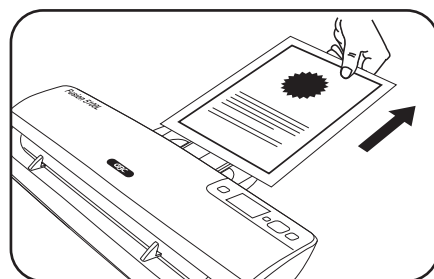


間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

- ⑥パウチフィルムがマシン前面のフィルム取出口から出てきます。



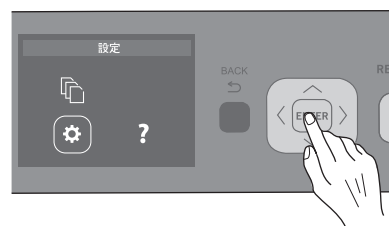
- ⑦ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



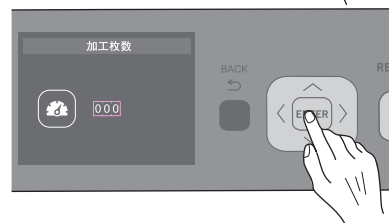
速度調整機能

★現在の設定から加工速度を調整することができます。「波を打って仕上がる」場合は速度を早く、「表面が曇って仕上がる」は場合速度を遅くしてください。

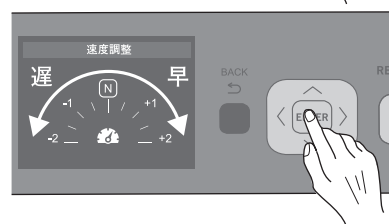
- ①エンターボタン(ENTER)を押して、メニュー画面を出します。



- ②選択キーを操作して、「速度調整」アイコンを選択してエンターボタン(ENTER)で確定させてください。



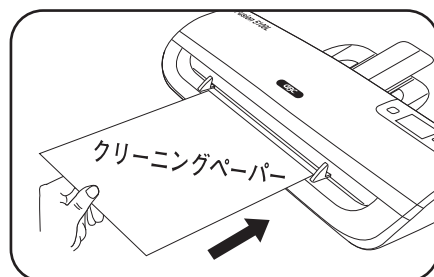
- ③選択キーを操作し、「速度」を変更してエンターボタン(ENTER)で確定させてください。



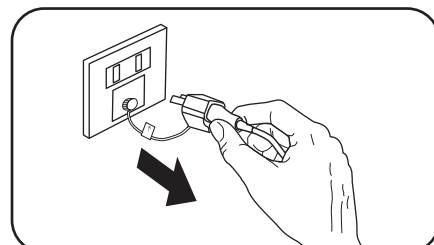
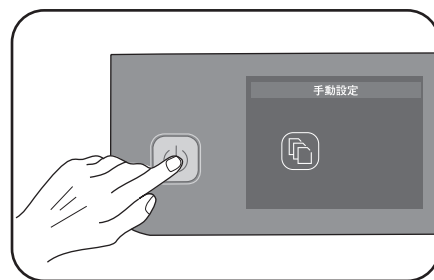
連続ラミネートをする場合

★連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

- ⑧ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。(温度が高い状態の時に実施してください。)



- ⑨ローラークリーニングが終了したら、電源ボタンにタッチして電源を切ってください。
また、安全のためにコンセントから電源プラグを抜いておいてください。



ローラークリーニング

- ★ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。
- ★クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程の厚さ、200g/m²程度の厚さの用紙)を使用してください。
- ★二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

オートシャットオフ機能

- ★電源が入ったまま約30分以上ご使用されない場合は、スタンバイ状態になり、自動的に休止します。再度ご使用になる場合は電源ボタンにタッチして電源を入れ直してご使用ください。



コールドラミネート

- ★本機では、コールドラミネートもすることができます。



- ★ホットラミネート後にコールドラミネートをする場合、ディスプレイに「冷却中」が表示されます。「加工可能」の表示に変わるまでお待ちください。



フィルム詰まりトラブル解消方法

フィルム詰まり検知機能(*)

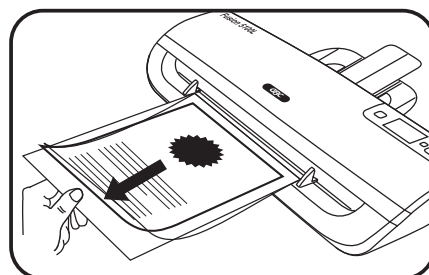
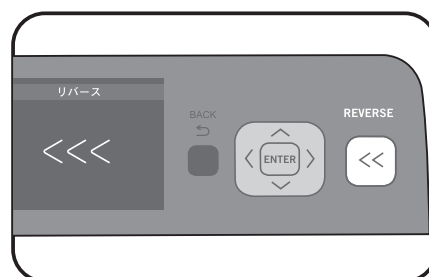
フィルム詰まりが発生した場合、ディスプレイに紙詰まりマーク“84”が点灯し、自動的に詰まったフィルムを投入口から排出します。



(*) すべてのフィルム詰まりを検知するわけではありません。
その場合は、逆転ボタンを押し、詰まったフィルムを排出して下さい。

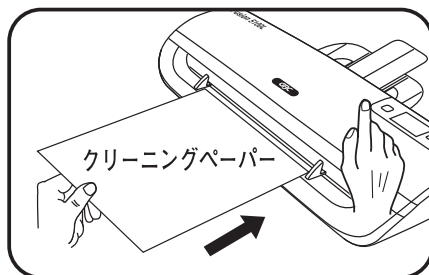
＜詰まったフィルムが完全に排出されない場合＞

逆転ボタン押しながら、詰まったフィルムを手で引き戻してください。
終了後は、必ずローラーをクリーニングしてください。



詰まったフィルムが投入口から排出されたら、必ずローラーをクリーニングしてください。

12ページのローラークリーニングの説明を参照。

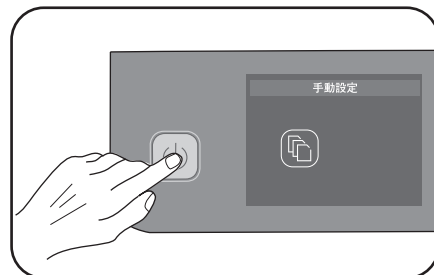


エラーモードが表示されたら

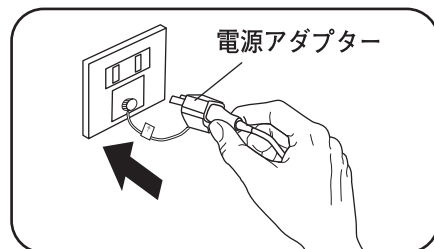
現象	原因	対処法
エラーモード“E1”	ラミネート加工ローラーに異常が発生している可能性があります。	一度電源をオフにして、コンセントを抜いた状態で5分程放置してから、再度オンにしてください。 それでもエラー表示が消えない場合は、販売店もしくは弊社サービスセンターにご相談ください。
エラーモード“E3”	温度設定センサーに異常が発生している可能性があります。	
エラーモード“E4”	ローラーの急激な温度変化によりエラーが発生しています。	

7・お手入れ方法

①電源ボタンにタッチして電源を切ってください。

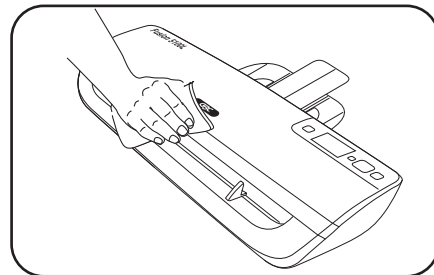


②付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。



③やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

ヘルプ (QRコード表示)

★メニュー画面のヘルプ“?”を選択してください。QRコードが表示され、弊社ホームページにアクセスすることができます。



8・こんな時は

現象	原因	対処法（参照ページ）
電源が入らない	◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ ◇電源が入ってますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。（8ページ） 電源ボタンにタッチして電源を入れてください。メニュー画面が表示されていることを確認してください。（8ページ）
ホットラミネートができない	◇ディスプレイに「加工可能」の文字が表示されていますか？ ◇クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	設定ボタンをタッチして設定した後、「加工可能」の文字が表示されるまでお待ちください。（9ページ） クーラーなどの冷気から離してご使用ください。（3ページ）
ラミネートフィルムがはがれる	◇紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。（5ページ）
ラミネートされた加工物が波を打っている	◇ラミネート温度が高すぎます。	速度調整を操作して、ラミネート速度を早くしてください。（11ページ）
ラミネートされた加工物の表面が曇っている	◇ラミネート温度が低すぎます。	速度調整を操作して、ラミネート速度を遅くしてください。（11ページ）
ラミネートフィルム表面が汚れる	◇ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。（12ページ）
ラミネートフィルムが挿入口から戻ってしまった	◇ディスプレイに、紙詰まり発生マーク“8w”が点灯していませんか？	紙詰まりが発生して、オートリバース機能が働きました。フィルムを交換した後、再度ラミネートしてください。（13ページ）
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	◇ディスプレイに、紙詰まり発生マーク“8w”が点灯していませんか？	紙詰まりが発生してオートリバース機能が働きましたが、排出が完了しませんでした。リバースボタンを押しながら、詰まったフィルムを投入口から引き戻してください。（13ページ）
ディスプレイにエラーモード“E○”が表示される	◇機械に異常が発生している可能性があります。	一度電源をオフにして、コンセントを抜いた状態で5分程放置してから、再度オンにしてください。

9・製品仕様

商品名	パウチラミネーター
	フュージョン 5100L A3
品番	GLMFS5100L3
サイズ(W) x (D) x (H)	570 x 185 (350) x 130 mm
質量 kg	4.5 kg
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
定格消費電力	1,200 W
最大加工サイズ	A3 (*) A3ノビには対応しておりません。
最大ラミネート厚	1.0 mm
最大使用フィルム厚	250 μm
ラミネート速度	405～1,200mm/分(可変式)
ラミネート温度	常温(コールド)・155℃
コールド対応	可
加熱方式	外部加熱方式
ウォームアップ	約 90秒

保証とサービス

- ★保証書は内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
販売店印、お買い上げ年月日の記入の無いものは無効となりますのでご注意ください。
- ★保証期間中に正常な使用状態で、万一故障した場合には、保証書記載事項に基づき、無償修理または交換
いたしますのをお買い求めの販売店、または、弊社へお申し出ください。

- (1) 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - b お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - c 火災、地震、水害、落雷その他天災地変ならびに公害や異常電圧
その他外部要因による故障または損傷。
 - d 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。
 - e 本書の掲示のない場合。
 - f 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場
合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - g 本機は専門処理業者様の業務用途には適しません。
ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご
依頼できない場合には当社へご相談ください。
- (2) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- (3) 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して
ください。

- (5) 補修用性能部品保有期間は製造中止後5年間です。
同等機種との交換により修理対応とさせていただきます。

修理メモ

お客様相談窓口 : 野田サービスセンター 04-7129-2135

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または当社へお問い合わせください。

パウチラミネーター 持込修理 保証書

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に、取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で故障した場合には本書記載内容に基づき、お買い上げの販売店が無償修理いたします。お買い上げの日から左記保証期間内に故障した場合は商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	フュージョン5100L
品番	GLMFSS5100L3
保証期間	1年
シリアルNo.	
★お買上げ日	ご芳名 ご住所 年 月 日
★お客様	TEL ()

★印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

個人情報のお取り扱いについて

本保証書にご記入いただいたお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動や保証期間経過後の安全点検活動のために利用させていただきますので、ご了承ください。お客様の個人情報は当社にて厳重に管理いたしますが、修理のために、当社から修理委託する保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございます。その場合は当社が厳重に管理いたしますので、あわせてご了承ください。



パウチラミネーター株式会社
www.accobrands.co.jp

お客様相談センター(野田サービスセンター)
04-7129-2135 (代)

住所/店名	
販売店	
TEL	()